



しゆく  
宿題たしかめ表

令和 3年 8月 28日 ~ 9月 3日

おうちの人のサイン			今週の宿題 14
	1		音読「山小屋で三日間すごすなら」教科書 P. 116~117
	2		漢字かんぺきくん 3年上 ~p.59 (漢字かんぺきくん P.59の問題をテストします)
	3		読みテストの練習 / 言葉調べ (国語辞典を引いて調べます。)
	4		かし組のかん字のふくしゅう 25と26 (□の中にバランスよく書きます。)
	5		書けるよね? かし組のかん字
G	6		いろは新聞 1. 習った漢字を使って今週の出来事を80~90字で書きます。 2. 金曜日の午後5時までに写真をとって、Google Classroomにのせる。
	7		ならべかえプリント (言葉を切り取り、ならべかえて一番いい文を作ります。)
	8		ポケモンドリル
	9		へんとつくり プリント
G	10		「わたしと小鳥とすずと」のワークシートをしあげた後に写真をとって、金曜日の午後5時までに Google Classroomにのせる。
	11		教科書プリント
G	12		Google Classroomのお友だちの「いろは新聞」を読む。
	13		9月の折り紙カレンダー作り シカモアのサイトに行って作ってください。9月3日の午後5時までに Ikeda@sycamorenin.com に送ってください。
	14		クラスメートの「本のしょうかい」を読んで、1番読んでみたい本と理由を考える。
	★		歌の練習 「イルカはざんぶらこ」 シカモアのサイトで練習する。

音読カード きのうより上手に読めたかな よくできた ◎ できた ○ もう少し △

読んだところ（ ）							
読むめあて	土	日	月	火	水	木	金
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸で区切ってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようがわかる							
おうちの人のサイン							

# 文を読んで考えよう (5) 「台風」

つぎの 文<sup>ぶん</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>を<sup>を</sup> 読<sup>よ</sup>んで、下<sup>した</sup>の もん<sup>もん</sup>だいに<sup>に</sup> 答<sup>こた</sup>え<sup>え</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>。

八<sup>はち</sup>月<sup>がつ</sup>から 九<sup>く</sup>月<sup>がつ</sup>に かけ<sup>か</sup>て、毎<sup>まい</sup>年<sup>とし</sup>、台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>が よく やつ<sup>つ</sup>て きます<sup>き</sup>す<sup>す</sup>ね。

台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>は、南<sup>みな</sup>の 海<sup>うみ</sup>で 生<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>す。一<sup>いち</sup>年<sup>ねん</sup>に だ<sup>だ</sup>い<sup>い</sup>たい<sup>たい</sup> 二<sup>に</sup>十<sup>じゅう</sup>七<sup>しち</sup>の 台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>が、で<sup>で</sup>き<sup>き</sup>る<sup>る</sup>そ<sup>そ</sup>う<sup>う</sup>で<sup>で</sup>す。も<sup>も</sup>ち<sup>ち</sup>ろ<sup>ろ</sup>ん、こ<sup>こ</sup>れ<sup>れ</sup>よ<sup>よ</sup>り 多<sup>おほ</sup>い 年<sup>とし</sup>も あ<sup>あ</sup>れ<sup>れ</sup>ば、少<sup>すく</sup>な<sup>な</sup>い 年<sup>とし</sup>も あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す。

南<sup>みな</sup>の 海<sup>うみ</sup>で 生<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>た 台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>は、方<sup>ほう</sup>こ<sup>こ</sup>う<sup>う</sup>を か<sup>か</sup>え<sup>え</sup>な<sup>な</sup>が<sup>が</sup>ら、 し<sup>し</sup>だ<sup>だ</sup>いに 北<sup>きた</sup>へ 上<sup>のぼ</sup>り、日<sup>にっ</sup>本<sup>ぽん</sup>の 本<sup>ほん</sup>土<sup>ど</sup>に 近<sup>ちか</sup>づ<sup>づ</sup>い<sup>い</sup>て き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>す。

台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>は 左<sup>ひだり</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>の 強<sup>つよ</sup>い 風<sup>かぜ</sup>の う<sup>う</sup>ず<sup>ず</sup>で<sup>で</sup>す<sup>す</sup>が、風<sup>かぜ</sup>だ<sup>だ</sup>け<sup>け</sup>で<sup>で</sup>は なく、は<sup>は</sup>げ<sup>げ</sup>し<sup>し</sup>い 雨<sup>あめ</sup>も ふ<sup>ふ</sup>ら<sup>ら</sup>せ<sup>せ</sup>ま<sup>ま</sup>す。そ<sup>そ</sup>の た<sup>た</sup>め<sup>め</sup>に、む<sup>む</sup>か<sup>か</sup>し から、わ<sup>わ</sup>た<sup>た</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>ち<sup>ち</sup>の く<sup>く</sup>ら<sup>ら</sup>し<sup>し</sup>を お<sup>お</sup>び<sup>び</sup>や<sup>や</sup>か<sup>か</sup>し<sup>し</sup>て き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>た。

強<sup>つよ</sup>い 風<sup>かぜ</sup>に よ<sup>よ</sup>つ<sup>つ</sup>て、家<sup>いえ</sup>の や<sup>や</sup>ね<sup>ね</sup>が と<sup>と</sup>ば<sup>ば</sup>さ<sup>さ</sup>れ<sup>れ</sup>た<sup>た</sup>り、木<sup>き</sup>を な<sup>な</sup>ぎ<sup>ぎ</sup>た<sup>た</sup>お<sup>お</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>り、大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>な は<sup>は</sup>た<sup>た</sup>け<sup>け</sup>の 野<sup>や</sup>さ<sup>さ</sup>い<sup>い</sup>や 田<sup>た</sup>ん<sup>ん</sup>ぼ<sup>ぼ</sup>の い<sup>い</sup>ね<sup>ね</sup>を だ<sup>だ</sup>め<sup>め</sup>に し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>り し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>す。りん<sup>りん</sup>ご<sup>ご</sup>な<sup>な</sup>ど<sup>ど</sup>の

く<sup>く</sup>だ<sup>だ</sup>も<sup>も</sup>の お<sup>お</sup>と<sup>と</sup>し<sup>し</sup>て し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。

大<sup>おお</sup>雨<sup>あめ</sup>で 川<sup>かわ</sup>の 水<sup>みづ</sup>が あ<sup>あ</sup>ふ<sup>ふ</sup>れ<sup>れ</sup>た<sup>た</sup>り、山<sup>やま</sup>の 土<sup>つち</sup>が く<sup>く</sup>ず<sup>ず</sup>れ<sup>れ</sup>て お<sup>お</sup>ち<sup>ち</sup>て<sup>て</sup>き<sup>き</sup>た<sup>た</sup>り す<sup>す</sup>る こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>も あ<sup>あ</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>す。

い<sup>い</sup>の<sup>の</sup>ち<sup>ち</sup>に か<sup>か</sup>か<sup>か</sup>わ<sup>わ</sup>る こ<sup>こ</sup>と<sup>と</sup>で<sup>で</sup>す<sup>す</sup>か<sup>か</sup>ら、 台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>に<sup>に</sup>は 十<sup>じゅう</sup>分<sup>ぶん</sup>に そ<sup>そ</sup>な<sup>な</sup>え<sup>え</sup>て

お<sup>お</sup>か<sup>か</sup>な<sup>な</sup>け<sup>け</sup>れ<sup>れ</sup>ば い<sup>い</sup>け<sup>け</sup>ま<sup>ま</sup>せん。



1 つぎの 文<sup>ぶん</sup>の ☐ に、当<sup>あ</sup>て<sup>て</sup>は<sup>は</sup>ま<sup>ま</sup>る 数<sup>かず</sup>を 書<sup>か</sup>き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>。

台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>は、☐ 月<sup>がつ</sup>から ☐ 月<sup>がつ</sup>に かけ<sup>か</sup>て、よく

や<sup>や</sup>つ<sup>つ</sup>て き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>す。

一<sup>いち</sup>年<sup>ねん</sup>で だ<sup>だ</sup>い<sup>い</sup>たい<sup>たい</sup> ☐ この

台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>が で<sup>で</sup>き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>す。

2 台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>に つ<sup>つ</sup>い<sup>い</sup>て、当<sup>あ</sup>て<sup>て</sup>は<sup>は</sup>ま<sup>ま</sup>る も<sup>も</sup>の<sup>の</sup>に<sup>に</sup>は ☐ を

当<sup>あ</sup>て<sup>て</sup>は<sup>は</sup>ま<sup>ま</sup>ら<sup>ら</sup>ない も<sup>も</sup>の<sup>の</sup>に<sup>に</sup>は ☒ を つ<sup>つ</sup>け<sup>け</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>。

ア ( ) 南<sup>みな</sup>の 海<sup>うみ</sup>で 生<sup>う</sup>ま<sup>ま</sup>れ<sup>れ</sup>る。

イ ( ) し<sup>し</sup>だ<sup>だ</sup>いに 北<sup>きた</sup>へ 上<sup>のぼ</sup>る。

ウ ( ) 右<sup>みぎ</sup>ま<sup>ま</sup>き<sup>き</sup>の 風<sup>かぜ</sup>の う<sup>う</sup>ず<sup>ず</sup>で あ<sup>あ</sup>る。

エ ( ) 風<sup>かぜ</sup>は 強<sup>つよ</sup>い<sup>い</sup>が、雨<sup>あめ</sup>は は<sup>は</sup>げ<sup>げ</sup>し<sup>し</sup>く ない。

3 台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>の こ<sup>こ</sup>わ<sup>わ</sup>さ<sup>さ</sup>に つ<sup>つ</sup>い<sup>い</sup>て、書<sup>か</sup>いた 文<sup>ぶん</sup>で<sup>で</sup>す。 ☐ に

当<sup>あ</sup>て<sup>て</sup>は<sup>は</sup>ま<sup>ま</sup>る 言<sup>こと</sup>ば<sup>ば</sup>を 書<sup>か</sup>き<sup>き</sup>ま<sup>ま</sup>し<sup>し</sup>よう<sup>よう</sup>。

台<sup>たい</sup>風<sup>ふう</sup>は、 強<sup>つよ</sup>い ☐ に よ<sup>よ</sup>つ<sup>つ</sup>て、木<sup>き</sup>を た<sup>た</sup>お<sup>お</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>り、

は<sup>は</sup>た<sup>た</sup>け<sup>け</sup>の ☐ や 田<sup>た</sup>ん<sup>ん</sup>ぼ<sup>ぼ</sup>の ☐ を

だ<sup>だ</sup>め<sup>め</sup>に<sup>に</sup>し<sup>し</sup>た<sup>た</sup>り し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>す。ま<sup>ま</sup>た、 ☐ で、川<sup>かわ</sup>の 水<sup>みづ</sup>が

あ<sup>あ</sup>ふ<sup>ふ</sup>れ<sup>れ</sup>た<sup>た</sup>り、 ☐ の 土<sup>つち</sup>が く<sup>く</sup>ず<sup>ず</sup>れ<sup>れ</sup>た<sup>た</sup>り し<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>す。



部首

十四

★次の漢字の部首をハイライトした後、部首の名前を左の□からえらんで書きましょう。

① 対

（ ）

（ ）

② 屋

（ ）

（ ）

③ 写

（ ）

（ ）

④ 真

（ ）

（ ）

⑤ 祭

（ ）

（ ）

すん

しめす

め

わかんむり

また

しかばね

★★ 次のへんやつくりのつく漢字を書きましょう。

① にんべん

② きへん

③ ひ

④ つきへん

⑤ とかんむり



# かし組のかん字のふくしゅう 25

□に、かんじを書きましょう。

( )は、よみかたを書きましょう。

未来のロボット。

来た道を引き返す。

馬がやって来る。

来

かきじゆん 7 かく  
来 来 来 来 来 来 来

よみかた  
くん おん  
く る ・ き た る ・ き た す

行いがわるい子。

海外りよ行

行ったり来たり。

行

かきじゆん 6 かく  
行 行 行 行 行 行 行

よみかた  
くん おん  
い く ・ ゆ く ・ お こ な う

レベルアップ

来月

店する。

日する。

年の目標。

レベルアップ

行先

れつが出来る。

き交う人びと。

しんする。



# かし組のかん字のふくしゅう 26

□に、かんじを書きましょう。

( )は、よみかたを書きましょう。

雪合せん

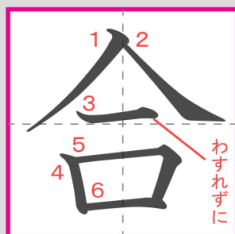
( )

スタートの合図。

( )

時間に間に合う。

( )



かきじゅん

6 かく

ノ  
ハ  
ム  
合  
合  
合

よみかた

くん おん

あう・あわす・あわせる

知人と会う。

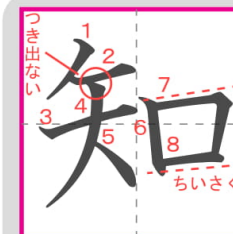
( )

人見知りする。

( )

見ず知らずの人。

( )



かきじゅん

8 かく

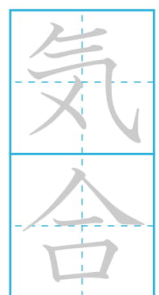
知  
知  
知  
知  
知  
知

よみかた

くん おん

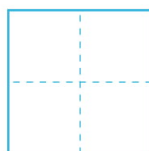
しる ち

レベルアップ



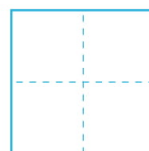
き

あい



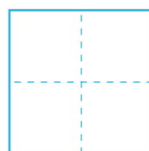
ごう

計



あ

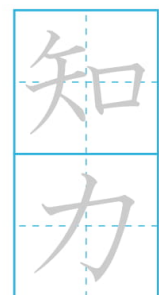
わせ技



ごう

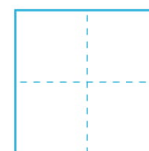
かく点

レベルアップ



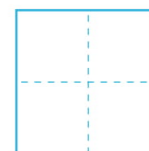
ち

りよく



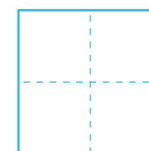
ち

しき



し

り合



ち

え比



# 書けるよね？かし組のかん字 13

□に、かんじを書きましょう。

( )は、おくりがなを書きましょう。

⑧


いろ

つきの


がようし

⑦

りよう


り

を


て

つだう

⑥


いわ

が


お

い

( )


やま

⑤


あね

と


いもうと

が

いる

④


しよどうきようしつ

③


かい

( )

( )

ものの


ごうけい

②


こうげん

にさく


はな

①


ちか

にあるお


みせ



よみテスト

## 山小屋で三日間 すごすなら

- (1) 山小屋で三日間すごす
- (2) 出された考えを整理
- (3) 順番を考える
- (4) 全員の考えを出し合う
- (5) 商品のせんでん
- (6) 言葉と写真・絵
- (7) 読書週間
- (8) お祭りに行く
- (9) 目的や知らせたい相手
- (10) 出店や花火大会

5	p119	4	p118	3	p118	2	p117	1	p116
	村田さんの住むちいき		人をひきつけるくふう		商品のせんでん		考えをみとめ合い		たんけん

★ 次の言葉の意味を国語辞典で調べます。  
言葉の意味が二つ以上ある場合は、教科書に  
一番合った意味をえらんで書きます。

★ つぎの文を下の言葉をつかって、くわしくしましょう。  
まず、下の言葉を点せんで切った後、ならべかえながら文を  
作ります。出来上がったら、のりではりましょう。

いもうとが

かりました

きりとり線

いもうとが

かりました。

本を

きのう

図書館で

ニヤッ

山の







# 夕日がせなかをおしてくる

## 3 次の詩を読んで、問題に答えましょう。

教 上 114 ページ ~ 115 ページ

夕日がせなかをおしてくる

阪田 寛夫 さかた ひろお

夕日がせなかをおしてくる  
まっかなうででおしてくる  
歩くぼくらのうしろから  
でっかい声でよびかける

さよなら さよなら  
さよなら きみたち  
ばんごはんがまってるぞ  
あしたの朝ねすごすな

夕日がせなかをおしてくる  
そんなにおすなあわてるな  
ぐるりふりむき太陽に  
ぼくも負けずどなるんだ  
さよなら さよなら  
さよなら 太陽  
ばんごはんがまってるぞ  
あしたの朝ねすごすな

(1) この詩の二連目はどこからですか。二連目のはじめの五文字を書きましょう。

きましよう。

(2) 「まっかなうで」とは何の、ですか。□に当てはまる言葉を、詩の中から書きぬきましょう。

の光

(3) ㊤と㊦は、それぞれだれがだれによびかけていますか。合うほうの言葉を○でかこみましょう。

㊤： ㊦：  
( ) 夕日 ・ ぼくら ( ) が  
( ) 夕日 ・ ぼくら ( ) に  
よびかけている。  
よびかけている。  
( ) 夕日 ・ ぼくら ( ) が  
( ) 夕日 ・ ぼくら ( ) に

(4) 「さよなら さよなら」は、どのような声でよびかけていますか。次からえらんで、○をつけましょう。

ア ( ) 元気で大きな声でよびかけている。

イ ( ) さびしくて小さな声でよびかけている。

ウ ( ) びっくりしてあわてた声でよびかけている。

夕日がせなかをおしてくる

阪田寛夫

夕日がせなかをおしてくる

まっかなうででおしてくる

歩くぼくらのうしろから

でっかい声でよびかける

さよなら さよなら

さよなら さよなら

ばんごはんがまってるぞ

あしたの朝ねすごすな

夕日がせなかをおしてくる

そんなにおすなあわてるな

ぐるりふりむき太陽に

ぼくも負けずとどなるんだ

さよなら さよなら

さよなら 太陽

ばんごはんがまってるぞ

あしたの朝ねすごすな



# わたしと小鳥とすずと

◎わたしと小鳥とすずと／夕日がせなかをおしてくる

1 次の——線の漢字の読みがなを書きましょう。

① 両手 を広げる。

② しあいに負ける。

◎わたしと小鳥とすずと

2 次の詩を読んで、問題に答えましょう。

教上 112ページ～113ページ

わたしと小鳥とすずと

金子みすゞ<sup>かねこ みすゞ</sup>

わたしが両手をひろげても、  
お空はちつともとべないが、  
とべる小鳥はわたしののように、  
地面<sup>じべた</sup>をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすつても、  
きれいな音はでないけど、  
あの鳴るすずはわたしののように  
たくさんうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、  
みんなちがって、みんないい。

(1) 「わたし」と小鳥をくらべて、それぞれ何ができると言っていますか。

① 小鳥は

② 「わたし」は

(2) 「わたし」とすずをくらべて、それぞれ何ができると言っていますか。

① すずは

② 「わたし」は

(3) 作者<sup>しや</sup>が言いたいことがまとまって表されているのは、何連目<sup>れん</sup>ですか。漢字で答えましょう。



連目

# わたしと小鳥とすずと

名前

わたしが、

しても

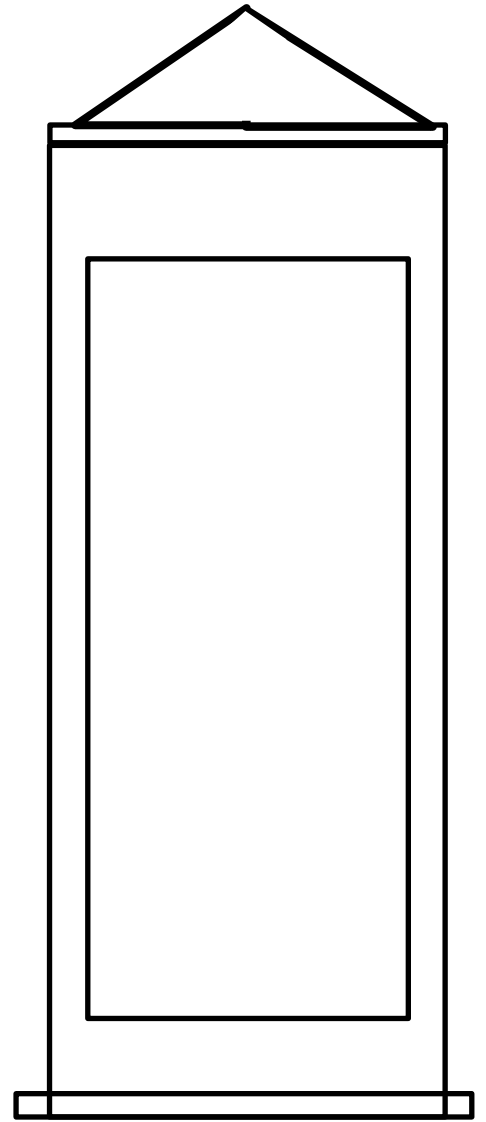
のように

できないけれど、

は、

わたしのうちに、

みんなちがって みんないい



9<sup>がつ</sup>月

日にち	月げつ	火か	水すい	木もく	金きん	土ど